

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	考古博物館管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	美術博物館		包含する細々目	1	10	5	6	14	1	10,268
政策	2 地育力によるこころ豊かななづくり											
施策	29 ふるさと意識の醸成											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画条例等	飯田市美術博物館条例、飯田市美術博物館条例施行規則 地域史研究事業						
		事業期間	5	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田下伊那広域圏の地域住民 ・上郷考古博物館・秀水美人画美術館	圏域住民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	177000
			177000	177000		
		施設の数(館)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	2	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	施設の維持管理を行う 展示、講座を行うことで考古学の研究成果を公表する。	展示・講座等の回数(回)	18目標	27	最終目標	
			18実績	27	19目標	28
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	上郷考古博物館と秀水美人画美術館において、展示、講演会、講座等を実施する。また収蔵品の保管のほか、館の維持管理を行う。<参考>細々目名:考古博物館管理運営事業費	・常設展示、・夏季展示「飯田の遺跡 速報展」(企画展)の実施、・秀水美人画美術館の展示替え4回実施、・夏季展示講座の実施、・夏季展示解説会の実施、・見学会(下伊那古墳探検、伊那谷の城郭探訪)の実施、・遺跡調査発表会の実施(予定)、・土器作り教室の2回(子ども対象1、大人対象1)実施、・「玉造部の会」(滑石による勾玉作り)の3回実施、・「ぎやまん工房」(ガラスを融解してトンボ玉や勾玉作り)の3回実施、・「夏休み原始体験」(土器や黒曜石による調理や炊飯、火おこし)の実施、・埋文調査写真資料のデジタル化、・小中学校、公民館、子供会、各種団体等の学習支援及び講演活動	・展覧会・展示替えの回数(回) ・講演会・講座・見学会等、主催事業の回数(回)	6 22
	18年度の実績	・常設展示、・企画展示「鏡の景」の実施、・秀水美人画美術館の展示替えの実施、・展示講座もしくは講演会の実施、・展示解説会の実施、・見学会(下伊那古墳探検隊、伊那谷の城郭探訪)の実施、・遺跡調査発表会の実施、・土器作り教室の実施(子ども対象、大人対象)、・「玉造部の会」(滑石による勾玉作り)の実施、・「ぎやまん工房」(ガラスを融解してトンボ玉や勾玉作り)の実施、・「夏休み原始体験」(土器や黒曜石による調理や炊飯、火おこし)の実施、・埋文調査写真資料のデジタル化、・小中学校、公民館、子供会、各種団体等の学習支援及び講演活動	・展覧会・展示替えの回数(回) ・講演会・講座・見学会等、主催事業の回数(回)	6 22

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	180	180
一般財源	10,426	10,268	
事業費計(A)	10,606	10,448	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,900	19年度 1,900
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	6,794	6,794
	トータルコストA+B	17,400	17,242

特定財源内訳や補足事項	考古博物館観覧料 考古博物館図録等売却代
-------------	----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・地域を知る ・地域を誇りに思う	飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)	現状値	18016	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	19800
	ふるさとを誇りに思っている市民の割合(%)	現状値	75.3	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標	85		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
上郷町時代の平成5年5月に開館する。その後、平成5年7月に合併し、飯田市美術博物館の分館となる。当初は、上郷町の考古学資料を中心に収集、展示していたが、合併後は、飯田・下伊那地域に研究の範囲を広げている。	開館から、直営方式で運営してきたが、年々入館者数が減少傾向にあり、時代の趨勢から、飯田市美術博物館との一元化や指定管理者制度の導入などの検討がなされている。	飯田市における考古学の専門施設であり、より充実を求める声もある。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	施設の運営・管理方法を見直す必要がある。  上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	